

令和8年度(2026年度)

道総研水産研究本部 成果発表会

「激変する北海道の海 - 変動を知り、適応するために -」
をテーマに水産研究本部の研究成果を報告します。
多くの皆様のご来場をお待ちしております。



日時 令和8年6月30日 (火) 12:30 開場

会場 かでの2・7(オンライン併用)

札幌市中央区北2条西7丁目

内容 口頭発表:かでのホール 13:00~15:45

ポスター発表:展示ホール 15:45~16:45

参加方法 申し込みはウェブから(6/22×)

(会場参加は当日受付も可能です)

参加
無料



参加申込ページ

開催テーマ 「激変する北海道の海 –変動を知り、適応するために–」

水産試験場が長年にわたり実施しているモニタリング調査で捉えた本道周辺の水域環境や水産資源の変動、その適応策に関する研究成果を報告します。

口頭発表:かでのホール 13:00~15:45 オンライン配信あり

13:00~13:25	開会挨拶・趣旨説明	水産研究本部長 星野 昇
13:25~13:45	豊穡の北の海は今 –モニタリングが捉えた変わりゆく北海道の海洋環境の姿–	中央水産試験場 栗林 貴範
13:45~14:05	極寒の海でオットセイをさがす –北海道西部日本海における海上分布の変化とその要因–	稚内水産試験場 堀本 高矩
14:05~14:25	回帰したサケの生き残り条件を探る –鱗を用いた成長履歴の解析–	さけます・内水面水産試験場 越野 陽介
14:25~14:40	休憩	
14:40~15:00	ホッケの資源変動の仕組みに迫る –海水温の変化と加入量との関係–	函館水産試験場 山口 浩志
15:00~15:20	コンブの夏バテ対策! ? –高水温下で進行する海藻種の交替と対応策–	中央水産試験場 川井 唯史
15:20~15:40	網走湖ヤマトシジミの産卵・成長・資源を長期に渡って探る –データを活用した提言から資源回復へ–	さけます・内水面水産試験場 渡辺 智治
15:40~15:45	ポスターセッションのご案内	

ポスター発表:展示ホール 15:45~16:45

北海道周辺海域における環境・水産資源の変化

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1 トドと沿岸漁業のこれからを考える | 中央水産試験場 神保 美渚 |
| 2 ブリの年齢から北海道への来遊資源の実態に迫る | 函館水産試験場 富山 嶺 |
| 3 赤潮を予察して被害を減らす | 中央水産試験場 嶋田 宏 |
| 4 サケ稚魚にとっての適水温を探る | さけます・内水面水産試験場 虎尾 充 |

環境変動に適応した増養殖技術の開発

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1 高水温に強いサクラマスの開発に向けて | さけます・内水面水産試験場 池本 恵祐 |
| 2 海域またぎのリレー養殖で大型サクラマスをつくる! | 栽培水産試験場 山崎 哲也 |
| 3 海面サーモン養殖での病気被害低減に向けて | さけます・内水面水産試験場 勝又 義友 |
| 4 暑い夏を乗り切るホタテガイ稚貝の育成方法 | 函館水産試験場 水上 卓哉 |
| 5 小型海藻から生まれる新たな産業 | 稚内水産試験場 前田 高志 |

資源の有効活用を目指した付加価値向上技術の開発

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 小骨を気にせず食べられる! ? | 釧路水産試験場 奈須 亮耶 |
| 2 マフグの美味しさを科学する | 網走水産試験場 藤田 真伍 |

*口頭発表課題もポスターを掲示します。